



思い返すと 印象深い今日までの日々!!



東部管理センター **宮崎 明**

この度、3月末日をもちまして無事に定年退職を迎える事となりました。これまで勤続27年、何とか今日まで迎えられたのは皆さまの多大なるサポートのおかげであると思います。色々これまで御協力をいただきました事に、心より御礼を申し上げます。

この仕事を始めた当時を思い返しますと、ゴミの収集量も今現在とは全く違って、多くのゴミが山積みされており『毎日が大変』だと感じていました。

それでも一緒に乗り組みである「仲間」の人達と冗談等を交わしながら、日々を楽しく過ごせた事が今の自分には1つの財産だったかなあとも思います。

職場に入った2年目に『青年部』、そして3年目から組合『執行委員』に携わり3年間の活動経験をさせていただき、全国の各都市(地方)への出張等もできたことにより、自分自身の視野も広がった事で成長した部分は非常に大きかったと感じています。

これまでに印象深かった出来事としては、何度も「災害復旧作業」に行った事が思い出され、①福井県での『ナホトカ号・座礁』により、加賀から能登までの海岸が「重油まみれ」になった事故に関して、手作業による油類を拭き取った布およびタオル等を輪島まで回収する作業に行った事②能登沖地震時における家具類等の後片付け作業に行った事③浅野川水害時における泥水が付着した家具や瓦礫類等を1日に何回も居室埋立場へ運んだ事……が、今も鮮明に思い出されます。



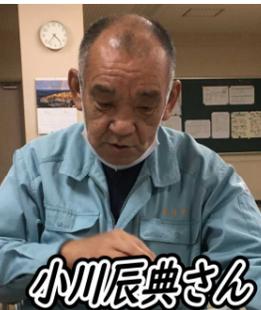
第80回火-デ-協賛ロードレース
~団体(第1部)で初優勝!!~

最後になりますが、現在の『コロナ禍』のなかで「市民生活が1日でも早く通常(普通)になるようにしたい」と願い、思ってこれまで業務に携わって来ましたが、時代の流れ「民間委託化」が進んでしまいましたが、直営業務の良さは「市民が一番理解されている」と思いますので、それを励みにしながらこれからも、皆さんと共に頑張っていきたいと思っております。これからの抱負として、一度「気持ちをリセット」してからは、山にイワナ釣りに行ったり、畑で野菜を作ったり、旅行やマラソン等……定年退職後の人生を楽しみたいと思っております。

再任用として、今後も仕事を続けていく予定なので引き続き宜しくお願い致します。

東部管理センター
を支えてくれた仲間の皆さま
本当にお疲れ様でした!!

2020年度にてお別れとなる方々



小川辰典さん



高田光博さん



中田和志さん
令和2年10月17日死去

Point

定年退職を迎える方々の現在の心境&様々な出来事を語る!!<東部管理編>



定年退職を迎える 今だから伝えられる事!!

東部管理センター **安田 博**

この度、28年間の勤続を終えて何とか無事に定年を迎えることとなりました。

これまで楽しいこと、苦しいことなど色々ありましたが、すべてひっくり返しても振り返れば『終わり良ければ総てよし』で、楽しく思える日々でありました。こう思えることには、ひとえに「共に同じ環境の中で一緒に働き、過ごした皆さんのおかげ」だと感謝しております。本当にありがとうございます。

○ これまでの印象深い出来事として

平成16年(2004年)の福井豪雨災害、平成19年(2007年)の能登半島地震、翌年におきた平成20年(2008年)の金沢浅野川水害(浅野川豪雨)、平成23年(2011年)の東日本大震災、令和元年(2019年)の東日本台風による長野市の水害がありました。

その中でも、特に『金沢浅野川水害』では東・西の職員が一丸となって「復興」に努めた姿が、今でもとても強く印象に残っています。

今の職員数は、その当時の半分になっており、もしも同じような災害等が起きたと仮定しても、当時のように復旧作業が円滑に行えるかは疑問であります。この水害以外にも、能登・福井県・新潟県・長野県に我々職員を派遣し、復興に向けた作業のお手伝いをさせて頂きました。

しかしながら、このままの職員定数に対する「減員」が続くとすれば、今現在も直面している『新型コロナ』対策ですが、幸いにも東西両センターでの感染報告はありませんが、最悪(非常)時を想定して「市民サービス低下」にならないような通常業務体制の維持を含め、業務拡大も考えて「定数増」をできるように組合の方々には粘り強くお願い致します。

○ 職場環境について

自分の現職場である東部管理センターは、最高に良い職場だと思います。特に収集業務と指導業務の垣根なく『同じ環境で同じ空気感』のなかで、同一方向および同一目標に向かう姿勢で業務しているのが「東部管理センター」(現職場)だと、私個人では思いながら誇りに感じ感謝もしています。

でも、やはり将来的なことを考えると、職場全般的に「若い力」が必要不可欠だと感じています。

どうすれば若い力が「新戦力」として認めて頂けるのか、業務維持・拡大等を皆んなで意見を出し合いながら、職場環境を今よりも更に良い方向に進めることが、より楽しい職場・より活気のある職場になると思いますので、こちらも組合の方々には何卒宜しくお願い致します。

○ 仕事(業務)面の变化について

ゴミ・資源等の分け方・出し方も時代の変化(流れ)で、大きく様変わりしています。市民目線で捉えた場合に、対応する職員は「電話対応する」事務員も、現場で「収集に携わる」直営職員および民間委託職員も、全く同じには見えないのが現実です。これからは、各自のスキルアップも職場の存続維持には欠かせない部分だと思っておりますので、日々、業務内容も飛躍的に変化(進化)しており、その都度『最低限の知識』は身に付けておくことが必要であると思っておりますので、私も変化に沿って知識を高めていきたいと考えています。

○ これからの抱負について

旅行も行きたいのですが、この「コロナ禍」のなかではなかなか行く勇気が湧かないので、いつか分かりませんが、この感染症が落ち着いたら行きたいね!!って考えています。

最後になりますが、先ずは1日が無事に何事もなく終わることが細やかな私の達成感(安堵感)であります。今年4月より『再任用』を希望していますので、無事に採用となりました際には「面倒をお掛け致します」が、変わらずのお付き合いを宜しくお願い致します。ありがとうございました。



第157号
発行2021年3月1日
金沢市従労組 情報宣伝部